

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

7月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘



- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

更新中

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

梅雨空に

校長 中畷 弘喜

さるかに門前の花壇のアガパンサスが開花の時期を迎えています。

アガパンサスは、南アフリカ原産の植物で、日本には明治中期に入ってきました。原産がアフリカでも寒さに強く、庭植えならほとんど世話をする必要がありません。そして、毎年梅雨の時期に鮮やかな青紫の花を咲かせます。（品種によっては他の色も）

以前、勤務していた中学校では、学校の植え込みや周囲に多くのアガパンサスが植えられていて、学校にとって特別な花でした。生徒会では、6月に入るとアガパンサスの花をたくさん咲かせようと呼びかけを行い、ポスターも掲示され、広報活動を行います。その中学校では、花がたくさん咲いた年は、明るく落ち着いた1年になると言われていたのです。

アガパンサスは、梅雨に入った頃から花茎が伸び始め、1m近く成長し、先端にたくさんの花を放射状に咲かせます。雨が多い時期、生徒は傘を持って通学します。心無い生徒は、伸びてきた花茎を傘で叩き折ってしまいます。そのため、花は咲くことがありません。人は、不安や怒り、悲しみ等の感情が、態度や行動に出てしまうものです。

「花茎を叩いてしまう生徒が多ければ、学校全体が荒れてしまう。」そのような状態には絶対にしないという生徒会の活動では、生徒同士の相談活動も行っていました。親や教師に言えないことでも、先輩や友だちなら話してくれるのではと、生徒会室に相談ブースやアンケート箱を設置するなど、生徒が主体的に取り組む姿は、小学生にはない頼もしさを感じました。



アガパンサスの花



さるかに門のアガパンサスの花茎は、上に向かって大きく成長しています。来週には開花するのではないかと楽しみにしています。

夏休みまであと3週間。夏休みには、家庭や地域で学校ではできない体験をたくさんしてほしいと思います。そして、夏休み明けには、心も体も一回り成長した子どもたちが元気に登校してくることを楽しみにしています。